

度区長会議もあるというので、項目を刷って、部落書上げのような形で、資料の蒐集、その提供・協力を仰いだ。

その時、私の編さん方針を話したが、はじめ村史とあったのを村誌と改める。なにせ旧鶴沼川と宮川の複合扇状地なのでその特質をもって全編をつらぬき、第一編を自然、第二編を村の発達、第三編を村人の生活とする。その中で重点をおくのは各部落の発達の項であるなどを述べて了承を得た。その時の編さん委員は次の通りで、教育長と、総務課長が、直接私との連絡に当ることにした。

北会津村誌編さん委員長 永島幸一(村長)

同 委員 山内辰夫(助役)

岩淵一男(収入役)

成田武雄(議会議長)

渡部義光(教育長)

鈴木真言(下荒井公民館分館長)

川崎利夫(小松公民館分館長)

若林平悟(住民課長)

鈴木幸一(総務課長)

牧原源一郎(前村長)

新田義満(前村長)

渡部喜一(前助役)

坂内 萬(郷土研究家)

千葉 薫(郷土研究家)